

業種 建設業

ヤマグチ株式会社

〒899-6507 霧島市牧園町宿窪田1960

設立 1965年4月

資本金 5000万円

従業員数 101名



**事業内容** ヤマグチ株式会社は、創業以来、70年余りの歳月を費やし、圧倒的な施工管理技術を身に付けており、その技術力を生かし、基本理念である「人と技術をベースに快・環境を目指します」のもと、多くの事業を展開。土木事業では、地域社会の一員として、様々な環境の変化に対応できるようなインフラ設備（道路・橋・ダム・堤防など）の整備に取り組んでいます。

建築事業では、施主の希望に寄り添い、末永く愛され続ける建物の建築に努めており、具体的には、学校の校舎や体育館などの公共施設、ホテル・医療福祉施設・民間企業の店舗などの建物の施工を行っています。その他にも、リフォーム事業、解体事業、造園事業、上下水道事業といった事業を行っています。昨今は、現場施工DXにも力を入れており、これまで培った豊富な経験とデジタル技術を掛け合わせて、安全かつ効率的な施工を心掛けています。

## なぜヤマグチという会社は 無くなってはいけないのか

### 現場の指揮者・施工管理

ヤマグチで土木工事の指揮者ともいえる施工管理をしている飯田さんにインタビューしました。現在、4年目とのこと。土木工事は、特定分野のスペシャリストである多数の会社が集まってプロジェクトを期限と予算内での完了を目指し、もち



ろん安全第一を目標に行われています。そのため、プロジェクトには協力会社が効率的に作業を進められるよう、様々なことに配慮しつつ計画的に指揮、監督する施工管理が必要です。施工全般の計画を進めていく過程には、数多くの交流がありコミュニケーション能力がとても重要だと、飯田さんは話してくれました。

### 社員と共に成長する会社ヤマグチ

4年働いて感じたヤマグチの印象は、役職など関係なく、社員同士の仲が良いこと。分からないことも質問しやすく、仕事をするうえで不安がないそうです。またヤマグチは、他の建設会社と比べて若い社員が多らしく、「新しく入ってきた若い社員たちが意欲を持って仕事に参加している姿を見て自分も良い影響を受けている」とも話し



●改装されたオシャレなオフィスにお伺いしました！



●インタビューに答えてくれた飯田さん



●「いきます！」と挨拶をして現場に向かいます。



てくれました。先輩後輩ともに、良い影響を与えられる環境が整っているようです。

建設業界は、学ぶべきことが多く、仕事の幅を広げるためには資格も必要です。ただ個人の成長は、仕事の規模など目に見えるカタチであられるのは大きなポイントであり、やりがいを感じられるとも話してくれました。

またヤマグチは、何よりもいい人たちと一緒に人間として、成長できる環境だと感じているのだそうです。

### 飯田さんにとって仕事の持つ意味は？

高校で土木を学んだ飯田さんは、地元で貢献できると思い、建設業であるヤマグチへの入社を決めたとのこと。また、飯田さんは入社2年目で道路の拡張工事を見たときに、単なる道づくりだけではなく、この完成後には渋滞が解消されると聞き、建設(土木)業の偉大さを実感したそうです。今年、飯田さんは初めて施工管理を担当。「地元の排水路整備の工事です。やりがいを感じています」と話してくれました。インタビューの際に、「飯田さんが働いている姿を写真や動画に撮り、友人や家族に見せることができるとしたら、どんな場面を残したいですか」と質問をしたところ、「現場で道路を作っているところです。日常では当たり前のように利用している道路ですが、私たちがどのような過程を経て道路を作っているのかを、ぜひ見てほしいです」と答えてくれました。飯田さんがプライドを持って仕事をしているのを強く感じられました。

### 人の集まる会社ヤマグチ

一般的に、建設業は厳しいイメージがあると思っていたので、ヤマグチに若い人が多く入社しているのには驚きました。しかも創業以来累計の離職率は1割程度だそうです。そこで、その秘密を副社長の山口さんに聞いてみました。まず、チーム内の協力体制を非常に重要視しているそうです。社員間の挨拶や礼儀といった基本的なことを何より重視するようにしていると話してくれました。そんな点を大事にしていると、社員間の活発な協力や交流が自然と生まれてきたとか。



また、創業者から現在の経営者に至るまで、急速に変化する時代に合わせて社員のニーズにきちんと向き合い、会社や制度などを変化させてきたことも、今に繋がっていると話してくれました。

### 災害発生時にインフラを保護する

建設業とは単に新しい何かを作り出すだけの仕事ではありません。今あるものを維持し続けるために、補修することも重要な役割です。また、災害発生時に道路をはじめとするインフラをいち早く復旧させる仕事も担っており、ある意味警察、消防などととも市民の日常を守っているとも思えてきました。山口副社長いわく、「今後もヤマグチが、霧島市民のインフラを支え、安心して生活できるようにすることが目標」と。一方で、建設業を取り巻く環境の変化も激しく、その流れにのり続けるためにも、今後も若い人たちがより働きたくなる会社を作り、積極的に採用する計画だとも話してくれました。

#### 〈担当から学生へのコメント〉

社会人の資格取得は、仕事と勉強の両立が大変です。是非、勉強ができる環境にいるうちに、自分の夢や目標に近づく為の資格や知識を身に付けてください。学生の皆様の「やりたいこと」や「なりたい姿」が実現できるよう健闘をお祈りしています！

土木部土木課 飯田



### ～ 取材後の感想 ～



鹿児島大学  
ハン君

社員と共に成長して変化していく会社であり、人々の日常を守る重要な仕事をしていることを感じる事ができました。